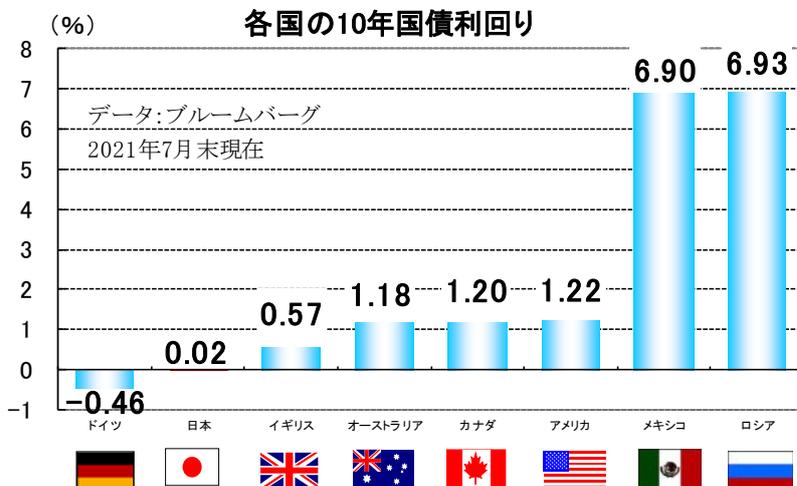


岡三証券で始める証券投資 外国債券投資の魅力

ポイント①好金利の債券が豊富

- 日本と比較すると外国の債券は好金利のものが豊富にあります。

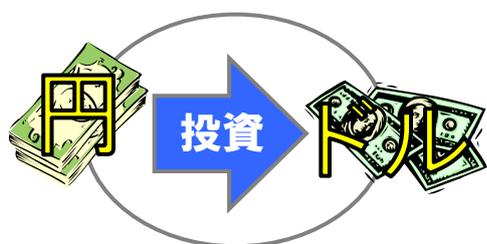


ポイント②為替差益が得られることも

- 外貨に投資した時の為替レートよりも換金時の為替レートが円安となっていると為替差益が得られます。一方、換金時の為替レートが円高となっていると為替差損が生じます。

例

～ 購入時 ～



1ドル=110円の場合
10,000ドルを購入すると
10,000ドル×110円=110万円

～ 換金時 ～

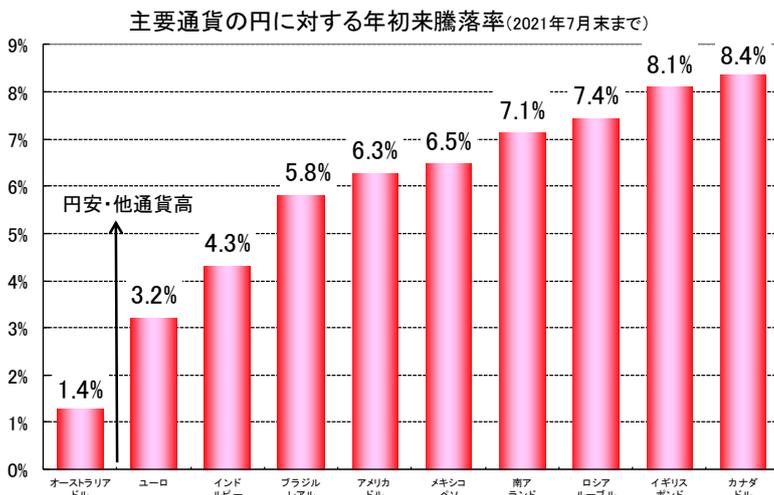
1ドル=120円の場合
10,000ドル×120円=120万円
120万円-110万円(元本)=10万円
(為替差益)

1ドル=100円の場合
10,000ドル×100円=100万円
100万円-110万円(元本)=-10万円
(為替差損)

イメージ図 (税金、手数料等は考慮していません)

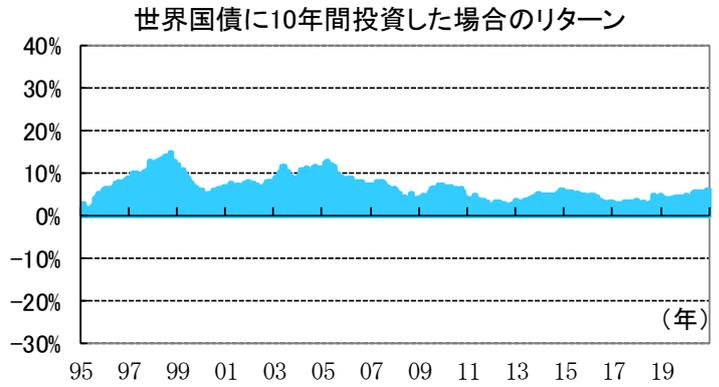
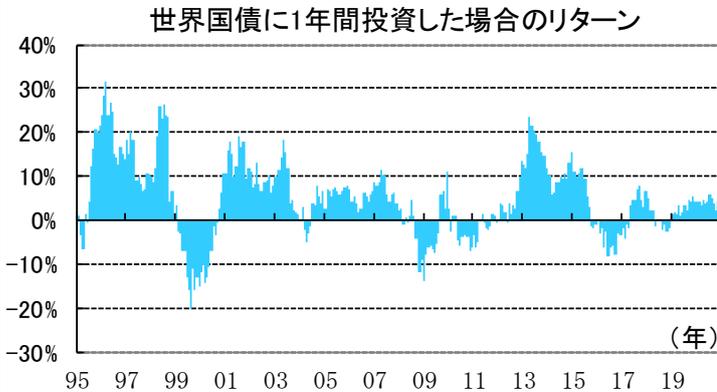
- 右のグラフは2020年末から2021年7月末までの円に対する諸外国通貨の騰落率を表しています。円に対する騰落率は通貨ごとに異なります。

データ:ブルームバーグ



ポイント③長期投資でリスク低減

- 長期間保有することで、インカムゲインを得られることもあり、長期的な観点からは、リターンは安定したものになります。

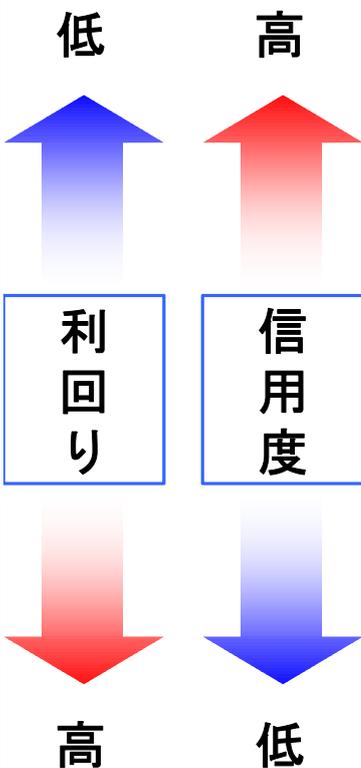


世界国債:シティグループ世界国債インデックス*
データ:ブルームバーグ

※ シティグループ世界国債インデックスは、1984年12月末を100として指数化された世界の主要国の国債の総合投資利回りを各市場の時価総額で加重平均したもので、世界の債券市場の動きを見る代表的な指数です。

ポイント④格付けで信用度をチェック

<格付けの見方>



AAA	発行体の信用度をチェックする方法として、「格付け」があります。これは格付け会社が、債券の利息や償還金支払いの確実性を評価して、その度合いをランク付けしたものです。
AA	一般的に、格付けの高い債券ほど信用リスクが低く、利回りは低くなり、格付けの低い債券ほど信用リスクが高く、利回りは高くなります。債券を購入する際には、安全性と収益性のどちらを重視するか、よくご検討いただく必要があります。
A	
BBB	
BB	※格付けはあくまでも第三者による意見であり、絶対的な投資尺度ではありません。同じ債券でも格付け会社によって差が生じることがあります。また、発行会社の経営状態の変化などにより、格付けが短期間に何段階も見直されるケースもありますので、ご注意ください。
B	
CCC	
CC	
+	
-	AA 格から CCC までの格付けには、プラス記号またはマイナス記号が付されることがあり、各格付けの中での相対的な強さを表します。

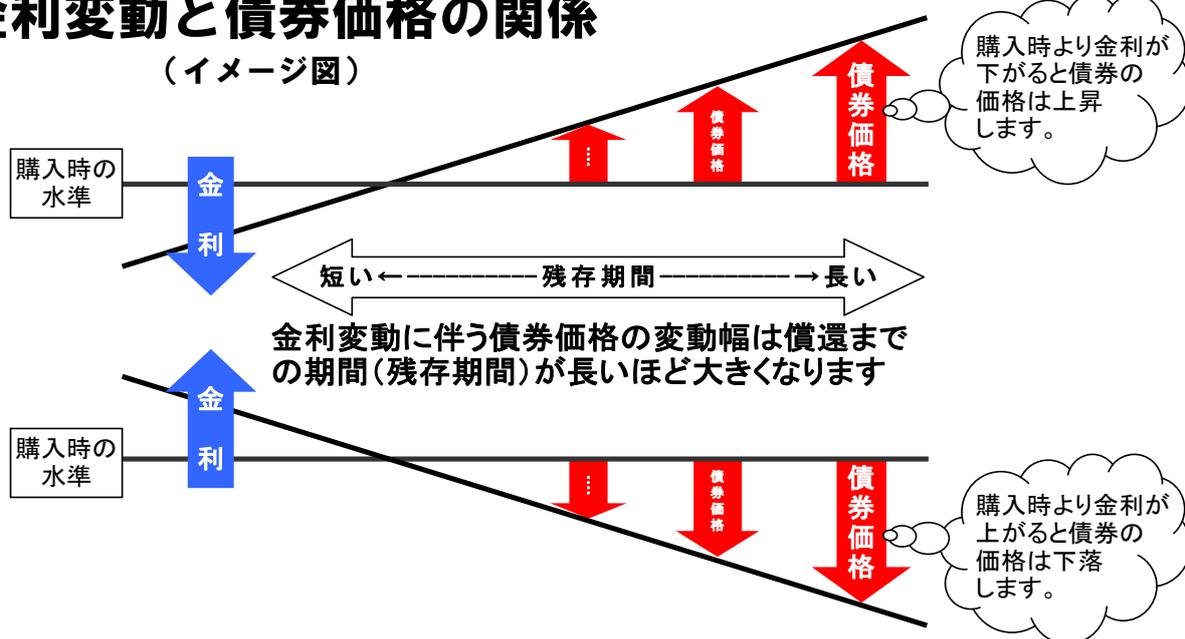
※格付け会社により、格付けの表記に違いがあるため、一般的には右記のように表示されます。

最終ページに重要な注意事項が記載されていますので、ご参照ください。

ポイント⑤金利変動と債券価格の関係

金利変動と債券価格の関係

(イメージ図)



○ 一般的な金利変動と債券価格の関係

- ・ 金利が上昇すると債券の価格は下がり、金利が低下すると価格は上がります。
- ・ 金利変動に対する債券価格の値動きは、債券の償還までの期間が長いほど大きく、期間が短いほど小さくなります。
- ・ 債券投資における金利変動リスクは、投資する債券の償還までの期間を短くすることにより、ある程度軽減することができます。

ポイント⑥一般的な外国債券の税制

利	金	:	} いずれも 原則 20.315% (国税 15.315%、地方税 5%) の申告分離課税の対象
経	過	:	
利	子	:	
償	還	:	
差	益	:	
途	中	:	
売	却	:	
益		:	

※株式等の配当・分配金、譲渡損益との損益通算が可能。

※2016年以降、税制が変更されました。詳しくは別冊のFP資料「公社債等に係わる税制が変更されます」をご覧ください。

2021年8月2日作成

重要な注意事項

1. 手数料等の情報

○一般的な商品における手数料等として、以下の費用をいただきます。

<債券>

債券を購入する場合、購入対価のみをお支払いいただきます。

- ・外貨建て債券を募集・売出し等により、または当社との相対取引により購入する場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。
- ・外貨建て債券の売買、償還等にあたり、円貨と外貨を交換する際には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。

2. 相場等指標の変動を直接の原因として元本欠損が生ずることとなるおそれがある場合の情報及びその他の重要事項

○債券

- ・債券は、金利水準、株式相場、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動による債券価格の変動によって損失が生じるおそれがあります。
- ・債券は、発行体やその他の者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、債券価格が変動することによって損失が発生するおそれがあり、また、元本や利子の支払いの停滞もしくは支払い不能の発生または特約による元本の削減等のおそれがあります。
- ・金融機関が発行する債券は、信用状況の悪化により本拠所在地国の破綻処理制度が適用され、債権順位に従って元本や利子の削減や株式への転換等が行われる可能性があります。ただし、適用される制度は発行体の本拠所在地国により異なり、また今後変更される可能性があります。

○2037年12月までの間、復興特別所得税として、源泉徴収に係る所得税額に対して2.1%の付加税が課税されます。

○金融商品は、個別の金融商品ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なります。当該金融商品の取引契約をされる場合、その金融商品の「契約締結前交付書面」(もしくは目論見書)または「上場有価証券等書面」の内容を十分にお読みいただき、ご理解いただいたうえでご契約ください。

○この資料は個々の投資家の特定の投資目的、投資金融商品または要望を考慮しているものではありません。

○ここに掲載した過去の実績は必ずしも将来の成果を示唆するものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。

○この資料は岡三証券が信頼できると判断した情報に基づいて作成されたものですがその情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、資料中の記載内容、数値、図表等は、本資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更される場合があります。

○各種税制は今後も変更される場合がありますのでご注意ください。具体的な税法上の質問や対策などは税理士等の専門家にご相談ください。

○有価証券は預金や保険契約とは異なり、預金保険・保険契約者保護機構の保護対象ではありません。

○岡三証券及びその関係会社・役職員が、この資料に記載されている証券もしくは金融商品について、自己売買または委託売買取引を行う場合があります。

○自然災害等不測の事態により金融商品取引市場が取引を行えない場合は売買執行が行えないことがあります。

(2019年10月改訂)

岡三証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第53号

加入協会:日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

一般社団法人第二種金融商品取引業協会

<https://www.okasan.co.jp>